

Hello! FUJISEI

No.279

「老後生活が心配」が8割

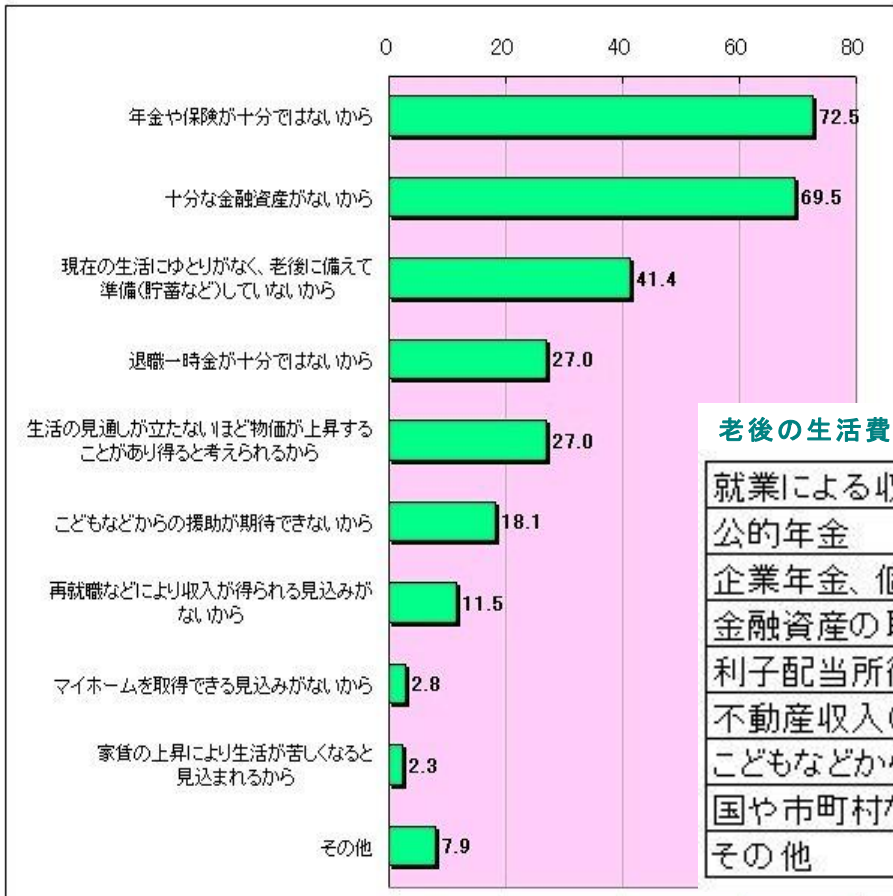
足りない年金・保険 金融資産も不十分

「下流老人」「老後破産」などという衝撃的な言葉が話題になっています。

寿命が伸びると、介護や病気など長くなった老後に対する不安も多くなります。不安なく暮らすには経済的な準備が必要です。

金融広報中央委員会が毎年実施し

老後の生活を心配している理由（複数回答、%）



ている「2015年 家計の金融行動に関する世論調査（二人以上世帯調査）」から、老後生活についての意識をみると、「心配である」（「非常に心配」39.6%と「多少心配」41.0%の合計）が80.6%と、8割の世帯が心配だと感じているという結果が出ています。

「心配である」と答えた世帯につ

いて、その理由について尋ねてみると、「年金や保険が十分ではないから」「十分な金融資産がないから」を挙げる割合が7割と高くなっています。また、現在の生活にゆとりがなく老後への準備ができていないという状況も見えてきます。

老後の生活費の収入源については、「公的年金」が8割となっていますが、「就業による収入」「企業年金、個人年金、保険金」も4割前後となっています。

年金に対する考え方では、「ゆとりはないが、日常生活費程度はまかなえる」と回答した世帯は46.5%前回（48.7%）に比べて低下し、「日常生活費程度もまかなうのが難しい」は47.3%（前回45.8%）と上昇しています。

老後の生活費の収入源（3つまでの複数回答、%）

就業による収入	41.3
公的年金	79.6
企業年金、個人年金、保険金	38.7
金融資産の取り崩し	27.9
利子配当所得	3.1
不動産収入(家賃、地代等)	5.4
子どもなどからの援助	3.6
国や市町村などからの公的援助	5
その他	4.2

金融広報中央委員会「2015年 家計の金融行動に関する世論調査」（二人以上世帯調査）

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル